

平城京左京五条二坊の出土品

大安寺西一丁目 平城京跡 奈良時代(8世紀)



奈良時代の土師器・須恵器

大安寺西小学校の建設にさきだって調査したもので、左右対称に配置された建物がみつきり、横組みと縦組みの二重構造になった井戸から多くの遺物が出土しました。奈良時代には土師器の甕が煮炊き、須恵器の甕や壺が貯蔵用に使われ、規格化された土師器と須恵器の杯、皿、碗、高杯などの食器があります。須恵器の硯、桧扇、ガラス玉なども出土しており、木製の横櫛などは現在のものとほとんど変わりません。



ガラス玉・横櫛



硯



桧扇



発掘区の全景 南から